広島版

# 学びの変革（まなびのへんかく）

全県展開中！

# デジタル化で進める「主体的な学び」の実現

県教育委員会では、子供たちがこれからの変化の激しい社会で活躍するために必要な資質・能力を身に付けることができるよう、「主体的な学び」を促進する広島版「学びの変革」に取り組んでいます。その取組の一環として、今年度から県立学校で一人1台コンピュータの導入と活用を順次進めています。

## 一人1台コンピュータ活用拡大中!!

各自のタブレットを使いフォームを撮影していきます。

県立福山明王台高等学校

みんなで相談しながら動画でフォームを確認することができます。

## 自分の動きを撮影してその場で確認！グループで話し合ってフォーム改善。

「文武両道」を軸にICT教育を推進する県立福山明王台高校では、タブレット端末を校庭に持ち出し、体育の授業で活用中です。まず先生の模範試技を動画で確認してから実技に入ります。練習中はグループごとに各自のフォームを撮影し、できていない箇所があれば修正を加えて再挑戦。練習→確認→改善を繰り返すことで、正しいフォームを身に付けていきます。先生が一から十まで教えるのではなく、生徒自らが課題を分析し、必要な対策を講じることで、主体性のある学習に取り組むことが可能になりました。

自分のフォームを見ることができると、悪いところが具体的に分かるのでとても便利です。授業で学んだこの方法は、部活動でもしっかり生かせています。

濵岡（はまおか） 美来（みく）さん

授業の中でみんなとリアルタイムに情報共有できるのが本当に便利です。臨時休業の間も、クラスメイトや先生の顔を見ながら意見交換できて、とても重宝しました。

徳永（とくなが） 瑚都（こと）さん

本校では、ICT教育を主体的な学びの中にどのように位置付けていくかを重要視しています。先生が一方的に教えるのではなく、生徒と先生、生徒同士、先生同士がICTを使って、ともに成長していくための雰囲気づくりを心がけています。そのほかにも、生徒たちが自らホームページを立ち上げて発信するなど、新たなチャレンジが始まっています。

学校長 田渕（たぶち） 照之（てるゆき）

## クラス全員の意見を即座に共有！様々な意見にふれながら考えを深める授業を展開。 県立広高等学校

県立広高校では、デジタル機器を活用した英語学習を推進中です。生徒は授業で理解した内容をもとに、自分の意見を端末に入力します。入力された意見はインターネットを使ってクラス全体で即座に共有されます。他のクラスの生徒の意見も確認できるため、様々な意見にふれながら、生徒たちは考えを深めています。授業では、アプリを使って発音を確認しながら、スピーチ力を含めた実践力も養っています。

これまでは授業を聞きながらノートを書くだけで大変だったけど、今はみんなの意見や授業のポイントが手元のタブレットですぐに確認できるので、とてもわかりやすいです。

弓矢（ゆみや） 小都（こと）さん

ネイティブの発音で読み上げてくれる英単語アプリのおかげで、予習・復習がとても効率的になりました。資料のスライド制作やふりかえり学習もすごく楽しいです。

小田（おだ） 拓都（たくと）さん

自分の意見を入力し、ふりかえりで他の生徒の意見も共有します。

本校は、とにかく生徒がよく動く学校です。ICTも生徒がどんどん自主的に取り入れて、校則の変更についても生徒会が中心となって全校アンケートを取るなど、素晴らしい成果を上げています。教員も各学年でICTプロジェクトを立ち上げてバックアップしており、生徒と先生の関係は、以前にも増して、親密になったと思います。

学校長 堀（ほり） 隆典（たかのり）

今回取材した両校の取組をくりっぷWEB版で拡大公開中!!

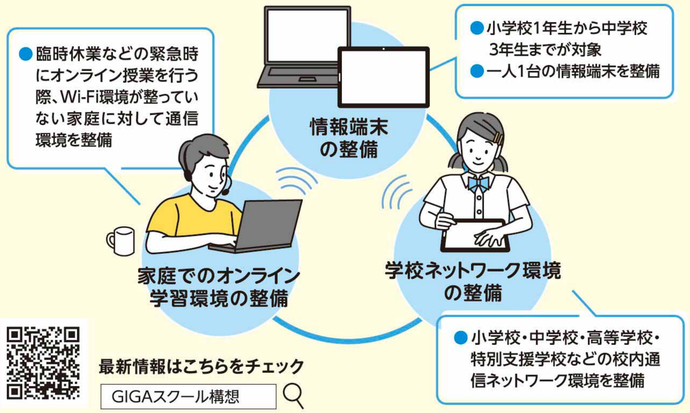
県教育委員会のHPへ今すぐアクセス



国の動きをCheck It Out!

# GIGAスクール構想

GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。文部科学省が打ち出した、児童生徒を誰一人とり残すことなく、全国一律のICT環境を学校教育の現場で持続的に実現させていくという構想です。新型コロナウイルス感染症の拡大も考慮に入れ、令和2年度末までに、すべての小学校・中学校・特別支援学校などで、児童生徒が一人1台の情報端末を使用するための費用を補助し、各自治体のICT教育環境の整備を推進します。




最新情報はこちらをチェック

GIGAスクール構想

変革最前線

# 小中学校でもデジタル化進行中！

## 授業での活用事例～三次市立みらさか小学校・三良坂中学校

三次市立みらさか小学校・三良坂中学校では、全県に先駆けてタブレットを使った学びに取り組み、児童生徒の主体的な学びを促しています。

小学校体育科の授業では、マット運動の様子をタブレットを使って録画し、グループで交流します。その動画を見ながら良い点や改善点を書き込み、話し合う活動をしています。お互いにアドバイスし合い、練習を繰り返していきます。

中学校社会科の授業では、タブレットを使って教科書や資料集に載っていない情報を集めています。多くの情報の中から適切な情報を集めたり、協働学習を通して整理したりする活動を進め、情報を収集する力や情報を整理する力を身に付けて、学習を深めています。

このように、子供たちは、タブレットを使って「やってみたい!」と思ったことを表現したり、課題解決の方法を主体的に学んでいます。そして、互いの考えを伝え、学び合う中で自分の考えを深め、主体的・対話的で深い学びへつなげています。また、様々なデジタル教材の中から自分で選んで学習内容を決める「個別最適化」ができることも大きなメリットです。